

第6次神戸市基本計画（素案）にかかるご意見の概要と神戸市の考え方

○募集期間：2025年12月3日（水曜）～2026年1月8日（木曜）

○ご意見数： 18通（23件）

※ご意見の内容は趣旨を損なわない程度に要約しています。

（1）文言の修正等にかかるもの

	意見の概要	市の考え方
1	<p>密集地が多く道が狭いと救急車、消防車等が入らず、安心して生活できない。安心して住めるように狭隘道路整備をお願いしたい。そのため、方向性Ⅲの「安全で快適な住環境を支えることで」を<u>「市街地に多い狭隘道路の整備を図り、防災強い、安全で安心していつまでも住み続けることができる住環境を造ることで」</u>に変更希望。</p>	<p>狭隘道路整備等の住環境整備に関しては、方向性Ⅲの「安全で快適な住環境を支える」の中で既に包含されています。また、下位計画にあたる実施計画や毎年度の予算編成については、そのことを踏まえ、市民が安全で安心していつまでも住み続けることができる施策として検討していく予定です。</p>
2	<p>都市像について</p> <p>① 産業や経済に力を入れているメッセージを国内外に示し、投資を神戸に集めるため、<u>「仕事や学びの場では～」</u>については、<u>「人が挑戦し新しい産業を育て経済の強い循環を作る」といった要素を入れてほしい。</u></p> <p>② <u>「山から望めば～」</u>の「豊かな自然」とは何か。<u>今後、神戸の山へ適切に人の手を入れて自然を整備していくのであれば、ぜひそのニュアンスを入れた表現にしてほしい。</u></p>	<p>① 「人が挑戦し新しい産業を育て経済の強い循環を作る」といった経済や産業を発展させていく意思是、「都市像を実現するための方向性（I）」の中で、「国内外から集まる多様な人材や企業と、市内の大学や企業、行政等が組織を超えてつながり、イノベーションを創出することで、独立した経済圏を支えるものづくり、港湾、農水産、食、観光、医療・バイオ等の既存産業の発展、新たな成長産業の創出を加速させる」と示しています。なお、都市像は方向性にそって取り組みを進めた10年後のありたい姿を表現しています。</p> <p>② 「豊かな自然」は、六甲山等の森林や農村・里山、山から見える海などを表しています。また、都市像に「先人から受け継いだ豊かな自然が悠然と広がる」といった表現を掲げることで、今後も森林等に適切に手を入れながら維持していく意思を示しています。</p>

	<p>③ 「<u>食は、自然の恵みと人に育まれ</u>」について、単に「人」とするのではなく、「<u>人の技術と工夫に育まれ</u>」などやや具体的なイメージが湧きやすい表現にしてほしい。</p>	<p>③ 「人」に「技術と工夫」といった具体的な表現を加えると、「人」の解釈が固定化するおそれがあります。神戸の食は生産者、食品加工業者、料理人、職人だけでなく、消費者などの様々な主体によって育まれており、都市像では、こうした多様な主体を広く包含するために「人」という表現を用いています。</p>
3	<p>① 平和の考えが見当たらないのが気になる。(神戸空襲で、町が焼け野原になった記憶が薄れてしまったのか。)</p> <p><u>P14 方向性 I の第一パラグラフの最後「～守り育てながら、世界に開かれたまちとして、持続的な発展を目指します。」のあとに「1962 年の平和都市宣言、1975 年の非核神戸方式、1983 年の非核都市宣言を引き継ぎます。」を挿入すればよいのではないか。</u></p> <p>② KGI 数値目標に、幸福度指標を導入したことは高く評価。よりよいものにしていく努力を継続してほしい。</p>	<p>① 平和は恒久的な理念であり、基本計画といった終期のある計画に掲げるものではなく、国や自治体の政策の根幹にある普遍的な価値です。今後も、これらの考え方を基本とし、引き続き、市政運営を行ってまいります。</p> <p>② KGI は、10 年後のありたい姿を数値で示すため、幸福度指標をはじめ、経済・人口指標を組み合わせて設定しています。今後、KGI の達成を目指し、基本計画に掲げる方向性にそって取り組んでいきます。</p>

(2) 意見収集の手法等の策定プロセスにかかるもの
なし

(3) 具体的な事業等に関わるもの

	意見の概要	市の考え方
1	<p>「日常の暮らしの質の向上」や「防災力の強化」という基本姿勢に賛同する一方で、具体像として、身近な公共空間である<u>公園の役割が十分に示されていない</u>と感じた。平常時は憩いの場として、<u>非常時には使用可能なトイレや給水設備等の整備を計画的に位置づけていただきたい</u>。道路や住宅に隣接する公園は、落葉の維持管理の負担となっているため、<u>更新時には樹種や配置を工夫し、生活環境と環境配慮の両立を図る植栽計画を進めていただきたい</u>。</p>	<p>頂きました具体的な事業等に関わるご意見については、今後、基本計画や下位計画となる実施計画の内容等を踏まえながら、毎年度の予算編成の中で検討していきます。</p> <p>なお、基本計画は、個別具体的な事業等を掲載するのではなく、10年後のありたい姿と、その実現に向けた方向性を掲げるものとして策定に向けた取り組みを進めています。</p>
2	<p>(私の在住地は) 2025 土砂災害水害ハザードマップで内水氾濫による<u>浸水想定区域内</u>で、引越ししてからでも2年連続で、床上ギリギリまで水が来た事があった。<u>下水管を太くすることや、すぐ近くに市営団地の大きな公園があるので地下に水が行くようにする</u>など、安心して生活出来るよう改善してほしい。</p>	
3	<p>2030年以降神戸空港から<u>国内定期国際線を多く飛ばせるよう、もっと航空会社や関西エアポートと国土交通省と連携をとってほしい</u>。</p>	
4	<p>神戸の国際都市として欠落しているのが外国領事館の減少と考える。<u>ポートアイランド及び六甲アイランドの有休土地を経済特区のように活用し、領事館の集約地として領事館を神戸に呼び戻せれば、自然と人の往来も増え人口増加にもなり</u>声高に国際化、国際都市と言わずとも明治維新以来、自然に国際都市として発展してきた<u>真の国際文化都市になる</u>のではないか。</p>	
5	<p>三宮東側は人口増加で問題ないが、西側は減少が顕著で改善が必要。</p> <p><u>①三宮駅周辺の雇用創出</u></p> <p>「時代の変化に伴う産業の転換」に記載の通り、改善され福岡市の様になるのではないかと<u>楽しみにしている</u>。</p>	

	<p><u>②駅周辺の「住」の整備</u></p> <p>駅近くに多くの人たちが「住みたい」「所有できる」住居の整備が必要です。名谷駅周辺は再開発で利便性は向上したもの利便性の高い場所は市営住宅が占めるため、子育て世代が望む戸建てや分譲マンションが不足し、垂水区や明石市へ流出している。</p> <p>「第3次市営住宅マネジメント計画」では、<u>名谷駅周辺の団地</u>が対象となっているが、<u>改修ではなく、廃止・再編を進めていただきたい</u>。また、<u>廃止後の土地は、戸建て住宅や分譲マンション、保育園、コンビニやドラッグストアといった商業施設等の整備に活用</u>し、幅広い世代が定住できる環境づくりと地域の活性化を進めてほしい。</p>	
6	<p>諏訪山展望台からの眺望が素晴らしいので<u>ループバスのコース</u>に入れたら良い。</p>	
7	<p><u>JR舞子駅周辺の再開発を希望。</u>JR舞子駅周辺の商業施設に活気がない。商業施設の新陳代謝の改善や、新たな再開発計画を立てていただきたい。明石海峡大橋という観光の目玉もあり、インバウンドの方も海外から来る場所でもある。</p>	
8	<p>神戸市公共施設等総合管理計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> 孫が通う<u>中学校の老朽化が心配</u>。子供達の安全性を考えて、<u>点検していただきたい</u>。同様に他校もお願いしたい。 	
9	<p>神戸の街路樹の豊かさは誇れると思われるが、木々の名前、原産地等のごく簡単な<u>樹木名の札</u>をとりつけて下さればうれしい。</p>	
10	<p><u>大型開発ではなく福祉や社会保障に予算を割き</u>、誰もが安心して暮らせる街にしてほしい。</p>	
11	<p>KGI(生活関連サービスを提供する市街地の比率を維持)について</p> <ul style="list-style-type: none"> これを維持するためにも<u>垂水区内陸部の鉄道交通の敷設を検討していただきたい</u>。 <p>(具体的な記載はしなくても良い)</p>	

(4) 全般に関わるもの

	意見の概要	市の考え方
1	<p><u>『10年後の都市像』はあまりにも現実離れした夢物語と感じる。</u></p> <p>(以下、個別事業に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心は工事だらけで、車は渋滞、歩行者は迂回ばかり、自転車は安心して走行できる車線がない。工事が長期化すれば、行き交う人は減るばかりではないか。センター街が良い例。 ・住民の高齢化が進み、免許返納すると代替の移動手段が必要であるが、バス路線の廃止や減便は現実的ではない。 ・高層商業施設を推奨したため、美しい夜景とはほど遠い風景になっている。 ・王子公園は○○大学誘致のために一部売却され、子どもたちの笑い声があふれる王子プールが廃止。地域でスポーツできる環境を奪われた。コベカツも裕福でない家庭は部活を続けられない声を聞く。 ・高齢化社会が進むと、地域の病院の維持・存続がより重要になる。○○病院や○○病院は地域になくてはならない病院。もっと行政が介入すべき。 ・市民の誇りは『新たなことに挑戦し、苦難を乗り越えてきた』ことである。これからは『高齢者が住みやすい街をつくる』べき。 	<p>「10年後の都市像」と「都市像を実現するための方向性」は、神戸の将来を担うこども達をはじめ、幅広い世代から集まった意見を踏まえ、外部有識者で構成される神戸市総合基本計画審議会にて議論が重ねられ、取り纏められたものです。</p> <p>今後は、多くの市民の意見を反映した方向性にそって、都市像の実現を目指し、様々な施策を展開していきます。</p> <p>また、施策の具体化にあたっては、頂きましたご意見も参考にしながら、毎年度の予算編成で検討を進めています。</p>
2	<p><u>『都市像を実現するための方向性』も現実離れしている</u></p> <p>(以下、個別事業に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の持続可能性を最重視するのであれば、税金を納める市民のための政策に比重を置くべき。子ども医療費を無料にしないから子育て世代から敬遠される。 ・再開発にはお金をかけるが、市民にはお金かけない印象が否めない。 ・ウォーターフロント再開発は必要か。観光客のための投資であり、市民には関係ない。 ・国際都市にこだわらず、住みやすい街にこだわってほしい。 	

	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活が必死な庶民に非日常は必要ない。 灘図書館は住民も多くも利用者も多いがリニューアルされない。 公共交通網を維持・充実と打ち出しているが、現実は市バスの縮小・廃止をしている。 いつまでも住み続けたいと思うまちは、高齢者や障がい者にも住みやすい街である。福祉制度をかえるぐらい住みやすい街にしてほしい。 国際都市にふさわしい開発をすれば神戸は栄えるという短絡的な発想ではなく、今の市民が生活上で抱えている困難・課題に向き合うべき。 	
3	<p>① 数値目標（全般）について あえて高い目標を設定していると説明があるが、過去の状況がわからなければ、今回の<u>設定値の妥当性が分からぬため補足説明が欲しい。</u></p> <p>② Well-Being 指標について 2025 年度神戸市実績と書かれているが<u>調査対象や手法はどのように行われたものか</u>。幸福度や生活満足度が低い方の要因は分析できているのか。<u>幸福度や生活満足度の具体的な理由公開の方が意義があるのでないか。</u> 物価高騰、高齢者の医療費負担割合増加、一部しか使わない選手練習用のスケートリンクはできても、王子公園、スポーツ施設等の廃止・縮小を考えると、昨今の幸福度、生活満足度は個人レベルでは明らかに下がりっぱなし。</p>	<p>① 数値目標の指標選定や目標値の妥当性については外部有識者で構成される神戸市総合基本計画審議会において議論を重ねたうえで設定しています。補足資料については、市ホームページ※にも掲載しています。 ※神戸市総合基本計画のページ https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/sougoukeikaku.html</p> <p>② Well-Being 指標は、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが独自で調査・分析を行い、当該法人及びデジタル庁のホームページで公表されているものです。また、幸福度や生活満足度の要因分析が行えるよう、幸福感や満足感を構成する因子別に主観・客観指標が公表されています。 なお、Well-Being 指標は国の骨太方針において行政での活用が推奨されていること等を踏まえ、基本計画の KGI として設定しています。</p>

都市像及び方向性について、全体として、高く広い視点から美しい神戸市の未来を描いていただき、神戸市の魅力を再確認することができた。あらためて神戸市民であることを誇らしく思うとともに、この計画の実現を強く願い、達成に向けて微力ながら貢献したいと思う。

(以下、個別事業に関する意見)

- ・ 「実質 GDP 成長率 1 %以上」は高い目標であるが、日本全体と同水準と考えると、神戸には実現できるポテンシャルも十分にあると思う。
- ・ 「22～39 歳の社会動態の転出超過を解消」を目指すなら、ベッドタウン化を進めれば足りるが、「地域経済循環率 100%以上の維持」にも込められているように、神戸市が目指す姿はそうではないはず。大阪のベッドタウンとはならず、この KGI を達成するには、企業誘致、スタートアップ支援等、働く場の充実に期待する。
- ・ 港湾産業はかつて世界有数の港湾であったものの、物理的な制約や経済規模の世界的なポジションといった地経学的な経緯から、今後、貨物量は漸減するのが現実的。とは言え、港町のアイデンティティや魅力は変わらず成長のエンジンとなりえる。物流・取扱量といった狭義の港湾産業はだけでなく、景観や港に近い暮らし、港町としてのブランド等、ソフト面での神戸港の力を最大限発揮する施策をお願いしたい。
- ・ ジャズは、市民として「神戸＝ジャズの街」は当たり前だが、全国的には認知されていない。年間を通じて実施するジャズイベントに共通のテーマや PR 動画を作るなど複数のイベントを貫く軸をもって発信することで、認知度が高まるのではないかと思う。
- ・ デザインは、神戸が日本初ユネスコ創造都市ネットワークの一つであることが認識されていない。市が考える「デザイン」とは何を指すのか、どのような価値があるのかをわかりやすく発信してほしい。

「10 年後の都市像」と「都市像を実現するための方向性」は、神戸の将来を担うこども達をはじめ、幅広い世代から集まつた意見を踏まえ、外部有識者で構成される神戸市総合基本計画審議会にて議論が重ねられ、取り纏められたものです。

今後は、多くの市民の意見を反映した方向性にそって、都市像の実現を目指し、様々な施策を展開していきます。

また、施策の具体化にあたっては、頂きましたご意見も参考にしながら、毎年度の予算編成で検討を進めていきます。